

□第4回 中国本部技術士研究・業績発表会(広島)□

鳥取県支部

支部長 伊藤 徹

総合技術監理 建設



今回の広島例会は2015年9月に国連で採択された、「我々の世界を変革する：開発可能なための2030アジェンダ」で掲げられたSDGs（持続可能な開発目標）を主要テーマとし、1日目は「第4回中国本部技術士研究・業績発表会」及び懇親会（忘年会）、2日目は広島市が「SDGs未来都市」に日本政府より認定され、その平和をコンセプトとしたSDGs関連施設の「見学会」が開催された。

日 時：2019年11月30日（土）

及び 2019年12月1日（日）

場 所：広島市文化交流会館

及び平和記念公園

1.「第4回中国本部技術士研究・業績発表会」 （11月8日）（参加者130名）

10：30～10：40 開会挨拶

日本技術士会 中国本部長 大田一夫

10：40～11：10 発表①

管路耐震化設計施工事例：

田中正美（技術士：上下水道、中国水工(株)）

11：10～11：40 発表②

ウイルスベクターの開発：

工藤季之（技術士：生物学、就実大学）

11：40～12：10 発表③

平成30年7月豪雨災害における国道31号線の道路啓開の事例紹介と強靱なインフラ構築：

野田直樹（技術士：建設、(株)ヒロコン）

12：10～13：00 昼食

13：00～14：00 基調講演

Society 5.0 for SDGs 講師：島根大学

地域未来協創本部 知的財産創活部門長

教授 松下幸之助氏（技術士：機械）

14：10～14：40 発表④

海洋プラゴミの収集装置の提案：

河野 徹（技術士：建設/水産/総合技術監理、(株)南日本技術コンサルツ）

14：40～15：10 発表⑤

古代から現代までの製鉄技術とSDGs：

櫻井理孝（技術士：金属、JFEスチール(株)）

15：10～15：40 発表⑥

持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた「株式会社フルサワ」の取り組み～循環型社会形成の継続推進・汚染土壌処理(浄化)事業の新規取り組み～：堂本悦朗（技術士：機械/原子力・放射線/総合技術監理、IPEA国際エンジニア/APECエンジニア、(株)フルサワ）

15：40～16：10 発表⑦

災害時における除菌消臭の重要性と次亜塩素酸水溶液の活用について：小野 朋子（技術士：生物学、(株)エイチ・エス・ピー）

16：10～16：40 発表⑧

広島県熊野町大原ハイツの被災者支援(避難マップ作成・避難訓練)：青原啓詞（防災委員会副委員長、技術士：応用理学）

16：40～16：55 総評

中国本部 事業委員会委員長 岡村幸壽

16：55～17：00 閉会挨拶

中国副本部長 外山涼一

17：30～19：30 懇親会（参加者60名）

会場：1F レストラン リバースガーデン

研究業績発表会は上記の1講演と8件の発表が行われた。なお、講演会・技術発表会は、技術士の幅広い取り組みについて理解を広め

るとともに、市民との交流を目的として一般参加者への公開としていた。なお、今回の発表会については鳥取県支部とのweb中継をお行い、問題なく明瞭に受信することができた。

松下教授の講演では、ぼんやりと理解していたSDGsのことやSociety5.0のことが明確に理解できるように、分かり易く解説された。

中国本部の8部会からの発表者の内容についても、SDGsへの取り組みについての報告が行われ、技術士として、企業として、一個人としてSDGsにもっと積極的に取り組む必要性と、一般市民の方へSDGsに関する理解を広めていくことの重要性について痛感させられた。17の国際目標について、科学技術、環境、社会、経済の連携を取りながら、課題の解決に取り組むことの重要性を改めて認識させられた。



写真-1 会場風景



写真-2 松下幸之助教授の講演

交流会は広島文化交流会館の1Fレストランを貸し切りで行われ、技術士会の若手バンドと復建調査設計のバンドの2組が会場を盛り上げてくれた。



写真-3 懇親会会場風景



写真-4 復建調査バンドによる演奏



写真-5 技術士会若手バンドによる演奏

会員らによるバンド演奏について、鳥取県支部にもバンドとったり技研があることから、2020年鳥取開催の西日本技術士研究・業績発表会では、バンド連合による演奏を行ったらどうかとの声も出ていた。

2. 見学会 (12月1日)

見学会は、平和記念公園を中心とし、平和をコンセプトにしたSDGs関連施設の見学を行った。(参加者30名)

当日は曇り空ではあったが、冷え込みはそれほどでもなかった。日曜日であったが、観光客、特に学生や修学旅行の生徒が多く来館されており、展示箇所の見学では人でいっぱいになり前へ進むのも難しい状況となっていた。

12:00～受付(平和記念資料館 東館前)

12:45～13:45 平和記念資料館見学(2019年4月リニューアルオープン)音声ガイドを利用しての見学

14:00～15:00 被爆体験伝承者講和(国際会議場) 峯岡紀子(伝承者1期生)

15:15～17:00 爆心地周辺の被曝遺構めぐり～世界遺産原爆ドーム～平和記念公園内の展示施設、被曝樹木

17:00 解散



写真-6 戦没者慰霊碑前にて



写真-7 東館入口にて参加者への説明



写真-8 展示館入り口の時計



写真-9 人影の石



写真-10 被爆体験伝承者講和 峯岡紀子氏

これまで何度も広島へ出かけてはいたのだが、広島平和公園の資料館見学は初めての体験であった。人の多さにも驚いたが、本館展示場を出て明るい外を眺めた時、涙腺がうるんでいる自分にびっくりした。冷静に見学していたつもりだったが、やはり感情は抑えられないものなんだと。もう少し、じっくりと時間をかけて見学しなければと、改めて感じた有意義な時間を過ごした見学会であった。